

コード No. 28059

**Anti-Human
XIAP Rabbit IgG Affinity Purify**

容量 : 50 µg

-
- はじめに : IAP (inhibitor of apoptosis protein)は進化的によく保存された細胞死抑制因子であり、アポトーシスの実行に中心的な役割を果たす caspase に直接結合して阻害します。ヒト XIAP (X-chromosome-linked inhibitor of apoptosis protein)は IAP ファミリーのひとつとして知られており、機能的には caspase-3, 7, 9 と直接結合して、その活性を阻害します。XIAP は三つの BIR (baculovirus IAP repeat) ドメインを有しており、BIR2 ドメインが caspase-3, 7 と、BIR3 ドメインが caspase-9 と結合することが確かめられています。また、C 末端の RING フィンガードドメインがユビキチンリガーゼ活性を有し、caspase のユビキチン化に関与することが明らかとなっています。
- 免疫抗原 : Human XIAP の部分合成ペプチド (aa244-263: VSSDRNFPNSTNLPRNPSMA)
- 精製方法 : 抗原ペプチドによる特異精製
- 包装形態 : 1% BSA、0.05% NaN₃ 含有 PBS 1.0 mL に溶解したものを凍結乾燥
- 再生方法 : 精製水 1.0 mL 添加(この時濃度は 50 µg/mL となります)
- 保存方法及び安定性 : 2 ~ 8 °C 保存 5 年間安定
溶解後 -20 °C 保存 2 年間安定
- 使用目的及び使用方法 : ウェスタンブロッティング 0.1~0.5 µg/mL にて使用可能
- 特異性 : Mouse と交差